

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

占冠中央小学校で森林教室を実施



【上川南部森林管理署】



占冠村立占冠中央小学校において毎年開催されている全校児童を対象とした森林教室に、当署から森林官が講師として協力しました。

プログラムの一つの「森のビンゴゲーム」では、用意したビンゴカードのお題（「まるい葉」、「ギザギザ葉」など16個（4×4））に当てはまるものを、グループに分かれて探してもらいました。限られた時間のなかで、探すのに苦労したグループもあれば、16個すべて探したグループもありました。森林教室を通じて、こどもたちの森林への興味が伝わってきました。

帯広農業高等学校（森林科学科）職場体験実習



【十勝西部森林管理署】



8月30日（水曜日）～9月1日（金曜日）の3日間で、帯広農業高等学校の職場体験実習を行いました。

事務室内で林野庁の組織、十勝西部森林管理署で行っている業務を説明した後、治山施設の建設、下刈り実行後の検査業務、製品（丸太）生産業務の一連の作業、造林地での調査などについて、現場の見学や業務の体験をしました。

また、ドローンで撮影した上空からの写真や全天球カメラの写真をパソコンで加工し、地形や森林の状況を把握する作業を体験しました。

利尻富士町立鷺泊中学校 野外学習



【宗谷森林管理署】



9月1日（金曜日）に、利尻富士町立鷺泊中学校1年生の総合的な学習の時間「野外学習」に協力しました。

野外学習は自然班と観光班の2班で実施され、そのうち、自然班が標高444メートルのポン山散策と観察を行う際に森林官が同行しました。

ポン山に登る途中で、植物やきのこを観察しながら歩きました。あいにくの天気でしたが、生徒の皆さんは積極的に質問をしてくれました。今回の経験が少しでも自然に興味をもってもらうきっかけになればと思います。

国有林モニター現地見学会を開催



【企画課】



9月9日（土曜日）に、国有林モニター現地見学会を開催し、苫小牧市内の防災施設と白老町内のポロト自然休養林を案内しました。

防災施設は、樽前山が冬季に噴火した場合に積雪が溶けて発生する融雪型泥流に備えるもので、この施設の下流で北海道開発局が整備している施設と一体となって効果を発揮する計画です。

ポロト自然休養林は、林野庁が特に訪れていたきたい森として選定している「日本美しい森 お薦め国有林」で、もっとPRすべきなどの意見をいただきました。

広報 「北の森林 国有林」9月号

発行 林野庁北海道森林管理局

編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

【トチノキ（実）】

トチ餅の材料となるトチの実はこの時期に熟します。木の下を歩いていると突然大きな実が落ちて来るので、要注意。実はあくがとても強いのでそのままでは食べられません。



今月の表紙